

令和元年度 決算・財政状況

令和元年度決算が9月町議会定例会で認定されました。昨年度どのくらいの収入があり、どのような事業や目的に支出したのか、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、決算概要と財政状況をお知らせします。

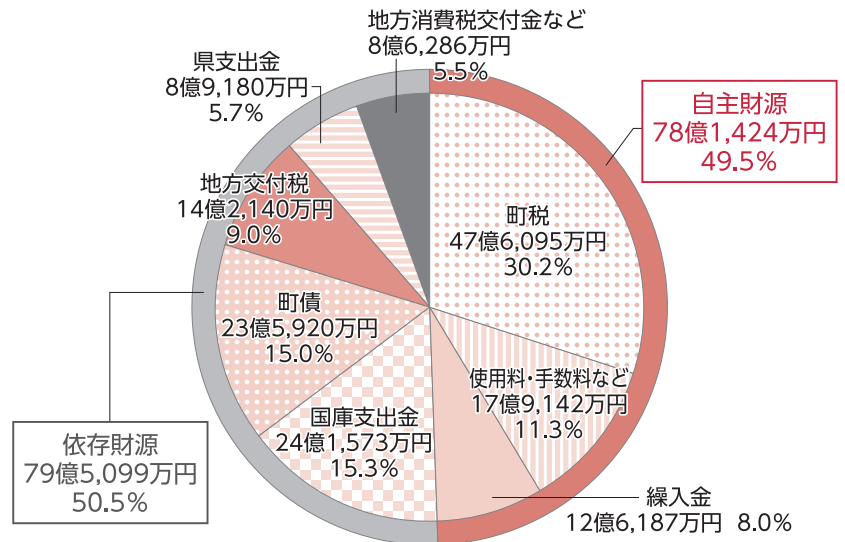
一般会計決算の状況

概要

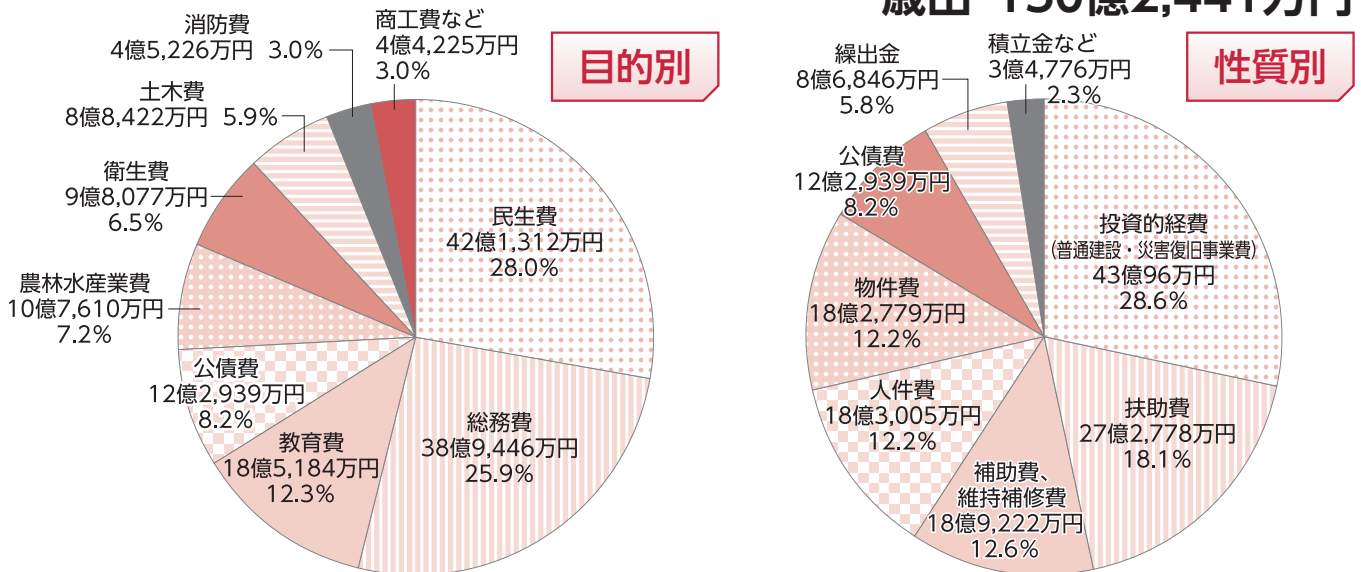
令和元年度一般会計の歳入は157億6,523万円、歳出は150億2,441万円です。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源1億7,540万円を差し引いた実質収支額は5億6,542万円となりました。

平成30年度決算と比較すると、歳入は国庫支出金や地方債等が増額、歳出は普通建設事業費や扶助費が増額となりました。

歳入 157億6,523万円



歳出 150億2,441万円



- 人件費**
 議員報酬や町職員の給与などの経費
- 補助費**
 一部事務組合や町内の団体などに補助する経費
- 繰入金**
 一般会計から特別会計に支出される経費

- 物件費**
 人件費、扶助費などを除く、消費的(支出の効果が単年度または極めて短期間で終わるもの)な経費の総称
- 公債費**
 町が発行した町債(借金)返済のための経費

- 扶助費**
 社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して支援する経費
- 普通建設事業費**
 道路や公園などの社会基盤の整備に要する経費

- 自主財源**
 町税や施設使用料など、町が自主的に調達できる財源
- 依存財源**
 国・県支出金や地方交付税など、国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられる財源

用語の解説
 ◀ 歳入関係
 ▶ 歳出関係